

サンダーソンアーカイブ ウィリアム・モリスと英国の壁紙展

～美しい生活を求めて～

2018年7月7日(土)～8月26日(日)



ウィリアム・モリス

《ピンパーネル(るりはこべ)》

1876年、サンダーソン社蔵

© Morris & Co.

ウィリアム・モリス(1834-96)は19世紀のイギリスを代表するデザイナー、詩人、思想家、工芸家です。産業革命により大量生産品があふれた当時のイギリスにおいて、丁寧な手仕事から生まれる美を愛し、自然との共生を目指しました。

モリスは結婚を機に新居となるレッド・ハウスを建設したとき、自身の目指す快適な生活空間には家具や壁紙が欠かせないものだと気づき、木版による美しい壁紙を生み出しました。壁面一杯に優雅に広がる草花は、100年以上経った今でも人々を魅了する居心地のよい空間を演出します。モリスは19世紀以前の、リアリズムに基づき奥行きを感じさせる3次元の世界観を離れ、平面的でありながらいきいきとした鳥や草花の表現により、自然と装飾の新しい関係を生み出しました。

本展は、モリスのデザインを中心に、英国有数の壁紙会社サンダーソン社が所蔵する貴重な壁紙や版木など約130点を日本で初めて紹介し、19世紀に隆盛期を迎えた英国壁紙デザインの変遷をたどります。中には、日本から輸入した金唐紙もあり、当時のヨーロッパにおけるジャポニズムの影響の大きさをみることができます。

また会場内には、モリスデザインの壁紙を用い、居間を想定したコーナー「クラシックモリス」、現代のライフスタイルに合わせたモノトーンの「ピュアモリス」コーナーを造作、モリスが目指した「美しい生活」を紹介いたします。

展覧会名 サンダーソンアーカイブ ウィリアム・モリスと英国の壁紙展－美しい生活をもとめて

会 期 2018年7月7日(土)～8月26日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休 館 日 月曜日(7月16日、8月13日は開館)、7月17日(火)

観 覧 料 一般 820(650)円、大高生 410(320)円

* ()内は20名以上の団体割引料金

* 中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

監 修 マイケル・パリー(ウォーカー・グリーンバンク社顧問)

主 催 群馬県立近代美術館、朝日新聞社

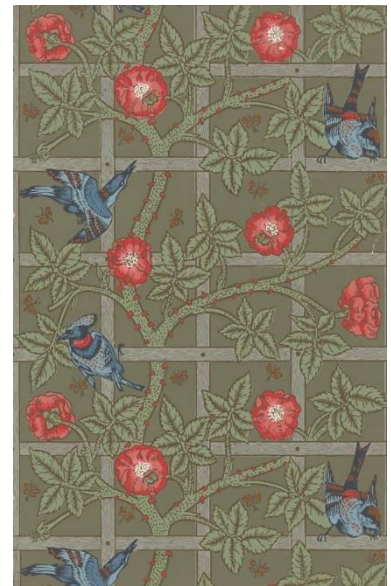
特別協力 ウォーカー・グリーンバンク社

後 援 ブリティッシュ・カウンシル

協 賛 西川産業株式会社、マナトレーディング株式会社

協 力 株式会社川島織物セルコン、リカラ株式会社、リンデン株式会社、日本航空

1



内 容 第1章 モリス以前 35点

写実的で精緻な花々と奥行きを感じさせる空間を再現するために、さまざまな技術を駆使して作られたフランス様式の壁紙、それに対して1850年代から始まる英国のリフォーム(デザイン改革)運動、1880年代以降の作品に頻繁に取り入れられるようになった日本あるいは東洋のモチーフ、特にイギリス独自のジャポニズムを生み出すことになった日本の金唐紙の影響を受けた壁紙などを紹介します。

第2章 モリスとその後継者によるデザイン 69点

装飾デザインの中でも特に壁紙において、モリスはパターン・デザインの才能を発揮し、自然観察に基づき、動植物のもつ曲線的な美しさをもつデザインを生み出します。

1861年、モリスが友人とモリス・マーシャル・フォークナー商会を設立した直後に《トレリス(格子垣)》(1)など初期のデザインが生まれました。やがて1875年に共同経営が解消されると、モリスが単独で経営するモリス商会に改組されました。モリス商会は1877年以降、モリス以外のデザイナーによる壁紙も発表しています。1896年にモリスが亡くなると、ヘンリー・ダールが遺産を守り続け、1940年、サンダーソン社がモリス商会を傘下に収め、壁紙や版木が引き継がれて現在に至ります。

第3章 モリスの影響と「アーツ・アンド・クラフツ」 22点

モリスの思想に影響を受けた次世代のイギリス人によってアーツ・アンド・クラフツ運動が始まり、モリスの死後、世界に広がりました。本章では、近代デザインの先駆けとなったこの運動に参加し、壁紙の制作も手がけたウォルター・クレインやC.F.A.ヴォイジーらの作品を紹介します。

サンダーソンアーカイブについて

サンダーソン社は、モリスと同時代の実業家、アーサー・サンダーソン(1829～1882)によって1860年、ロンドンに創設されました。初め、フランスを中心に壁紙を輸入し、1886年には日本から金唐紙を輸入するなど、時代の流行に合わせて幅広い商品を扱いました。後に英国内の有力壁紙会社を傘下に収め、壁紙の生産も開始します。1927年にはモリスの壁紙を印刷していたジェフリー商会の壁紙製作部門を買収し、1940年にモリス商会を買取りました。現在はウォーカー・グリーンバンク社の傘下に入っていますが、壁紙コレクションの歴史は158年に及び、モリスのオリジナル壁紙や版木など貴重な資料をサンダーソンアーカイブとして保管整理しています。

関連事業 **記念講演会** 「モリスの壁紙のある空間」7月22日（日）14：00～15：30

講師：松下由里氏（群馬県立館林美術館学芸係長）

当館2階講堂 申込不要・聴講無料（先着200名）

学芸員による作品解説会 7月28日（土）、8月15日（水）14：00～15：00 申込不要・要観覧料

「こども+おとな+夏の美術館」ミニワークショップ(予定)

「モリスの布で作るくるみボタン」7月26日、8月2日、9日、16日、23日（全て木曜日）

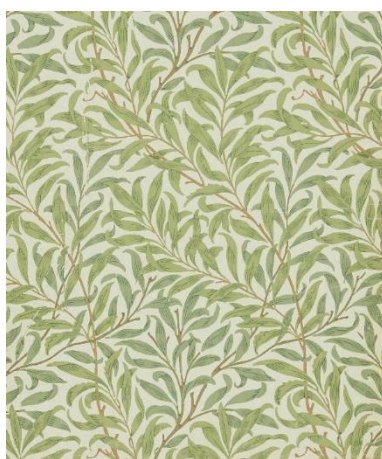
各日10:00～16:00 申込不要・参加無料（各日先着200名）

材料提供：マナトレーディング株式会社

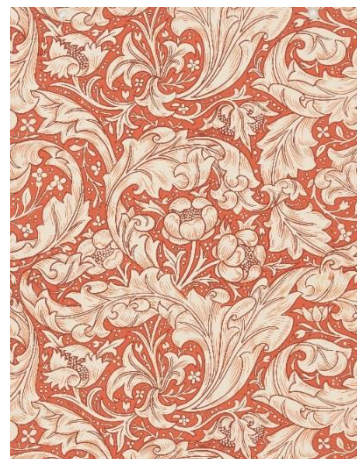
※その他、ウィリアム・モリス展にちなみ、講師を招いてワークショップを開催する予定です。詳細・申込は、展覧会開幕後、ホームページ、イベントチラシなどをご確認ください。



2



3



4

1 《トレリス(格子垣)》1864年 2 《サンフラワー(ひまわり)》1879年 3 《ウィロー・バウ(柳の枝)》1887年

4 《バチェラーズ・ボタン(やぐるまぎく)》1892年

キャプションには作品タイトルの他、「ウィリアム・モリス(作者)、サンダーソン社蔵(所蔵) ©Morris&Co.」を表記してください。

担当者/連絡先 群馬県立近代美術館 学芸員 神尾玲子 kamio-r@pref.gunma.lg.jp

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 Tel.027-346-5560 Fax.027-346-4064

<http://mmag.pref.gunma.jp/>